



2021年3月19日

各位

会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション  
代表者名 代表取締役社長 山本 浩也  
(コード番号1712 東証・名証第一部)  
問合せ先 取締役企画管理本部長 珍道 直人  
(電話番号 052-819-5310)  
当社の親会社 株式会社 ダイセキ  
代表者名 代表取締役社長 柱 秀貴  
(コード番号9793 東証・名証第一部)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月19日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、2020年6月30日に公表した2021年2月期通期の業績予想を修正することいたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 業績予想の修正

##### ① 2021年2月期通期 連結業績予想数値の修正 (2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,500	百万円 970	百万円 1,000	百万円 566	円 銭 33.69
今回発表予想 (B)	14,900	1,200	1,240	680	40.45
増減額 (B-A)	1,400	230	240	114	
増減率 (%)	10.3%	23.7%	24.0%	20.1%	
(参考) 前期実績 (2020年2月期)	14,048	1,237	1,296	678	40.39

##### ② 2021年2月期通期 個別業績予想数値の修正 (2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,535	百万円 623	百万円 434	円 銭 25.83
今回発表予想 (B)	13,000	800	540	32.12
増減額 (B-A)	1,465	177	106	
増減率 (%)	12.7%	28.4%	24.4%	
(参考) 前期実績 (2020年2月期)	12,140	871	531	31.64

## 2. 修正の理由

2021年2月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた土壌汚染調査・処理事業の需要が回復したことに加え、第4四半期から中京エリアにおける大型の中期的なインフラ整備工事関連の処理が始まったことにより、売上および利益が増加しました。また、リサイクルセンター等における業務効率化やコスト削減策を継続して推進してきたことにより、利益率も想定以上に改善しました。

上記の結果、通期における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、2020年6月30日に公表いたしました業績予想を上回る見通しとなったため、業績予想を修正するものであります。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上